

新市になってから過去最高の302億円

全会計の総額で、23億4298万円4.9%の増。

2020年3月当初予算は、一般会計302億2700万円が予算化されました。

二宮市長は、議案説明で、『一般会計は、16億6000万円、5.3%増、全会計の総額では、23億4298万円の4.9%の増。一般会計、及び全会計の予算額としては、合併以来、新市になってから過去最高の額になった。』としました。

合併特例が延長され、災害の手当が国からされたことによるものです。本市の被災者支援と災害対策がしっかり行われている予算が検証されるのが今回の課題でもあります。

<予算の主なもの> (おもには新規のものを紹介します)

勤慢管理システム経費：2,486

学校給食費公金会計システム改修業務委託料：1,338

支線見直しデマンド実証運行委託料(平野 阿蔵)

合併振興基金積み立て5億円

市民文化会館基本構想・基本計画策定業務 予算計上なし

介護施設開設準備助成事業補助金：15,102

認知症高齢者グループホーム18人×839千円(県補助)

肱南保育所・三善保育所解体設計業務委託：1,474

肱南地区認定子ども園施設整備事業：263,015

三善・八多喜地区認定子ども園施設整備事業：9,468

喜多医師会病院内保育所地域型給付費：50,492 (国県負担全額)

院内保育所に地域から6名の方が入所できるようになります。

子育て支援センター準備経費：2,169

小児科診療所新規開業促進事業補助金：30,000

循環型社会形成推進地域計画作成業務委託料：8,921

環境センター 更新のため

後は次号に続く

梅木市議の質問に対する企画情報課の回答です。
カッコ内は予算で、単位は千円です。

(1) 肱南地区複合施設整備事業 (3,964)

今回整備する施設は、平成30年度に策定した「肱南公民館周辺整備基本構想」に基づき、肱南地区活性化の拠点となる施設として、公民館、カヌー艇庫、交流・観光などの機能を併せ持つ「複合施設」を、現肱南公民館敷地と旧研家敷地を一体的に活用し整備する。

■敷地測量・境界確定業務 (1,223)

○境界確定(現公民館敷地)

○水準測量・現況平面図作成等(建設用地全体、周辺)

■整備基本計画策定業務 (2,500)

○施設整備及び事業手法、運営方法の検討など

■検討組織 (241)

○庁内検討委員会(市役所内の関係各課で組織)及び整備検討委員会(学識経験者等で組織)を設置し、「複合施設」の整備に関し必要な事項の調査及び検討を行う。

○整備検討委員会経費

報償費(180) 旅費(21) 需用費(36) 通信運搬費(4)

(2) 長浜港周辺利活用事業 (50) 債務負担(R2~R3 11,250)

長浜地域には、市町村合併前に議決決定された「長浜町第三次開発事業基本計画」が新市に引き継がれており、愛媛県により整備された長浜港小型船だまりに漁船が移転された後には、現在の港を埋め立てる計画となっている。

しかしながら、当時と現在の社会経済状況等の変化から、計画にある土地の開発と利活用について実現可能な計画へと見直す必要が生じているため、令和2年度から3年度にかけて検討を進める。

■長浜港周辺利活用基本構想策定業務 (債務負担 11,250)

○現状把握、課題整理、市場調査、庁内関係課アンケート調査等、基本構想(案)策定、施設配置計画(案)策定、概算事業費の算出、事業スケジュールの検討等

■検討組織 (50)

○庁内検討委員会(市役所内の関係各課で組織)を設置し、アドバイザー(愛大教員を想定)の指導を受けながら、長浜港周辺の利活用について協議・検討を進める。

○庁内検討委員会経費

報償費(12) 旅費(10) 需用費(18)